

2016年3月期 決算説明会資料

2016年5月18日

蛇の目マシン工業株式会社

業績の概要

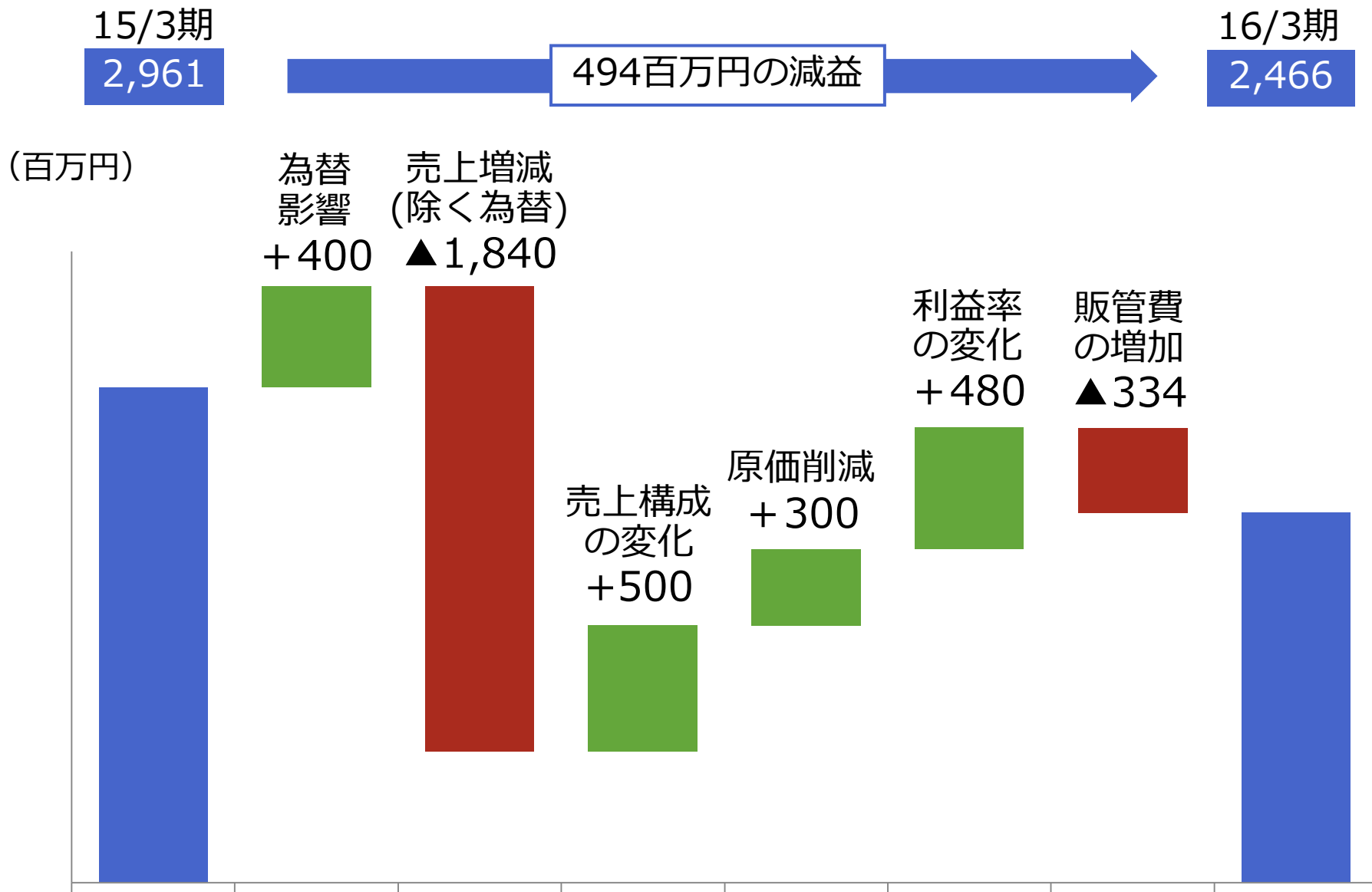
(百万円)	15/3期	16/3期	増減
売上高	46,019	42,661	△3,358
売上原価 [売上原価率]	28,315 61.5%	24,962 58.5%	△3,352 3.1P減
営業利益 [営業利益率]	2,961 6.4%	2,466 5.8%	△494 0.7P減
経常利益 [経常利益率]	2,711 5.9%	2,646 6.2%	△64 0.3P増
純利益	1,860	1,548	△312
為替レート (対米ドル)	109.92円	120.13円	10.21円

売上高 △7.3%
 営業利益 △16.7%
 ミシン販売台数 △33万台
 ロボット販売台数 △520台
 プレス販売台数 +50台
 ◆ロシア向け（東欧含む）
 ミシン販売減少の影響大
 ◆北米・欧州で量販向け販売
 増,国内外で新機種投入し
 需要喚起するも伸び悩む

経常利益
 ◆為替差益151百万円
 (前期は差損89百万円)
 ◆支払利息200百万円
 (前期比△51百万円)

特別損失
 前期比△306百万円
 (前期は土地減損計上)
 法人税等
 前期比+414百万円
 (要因:税務上欠損金減少)

営業利益の増減要因



事業セグメント別業績

JANOME

(百万円)

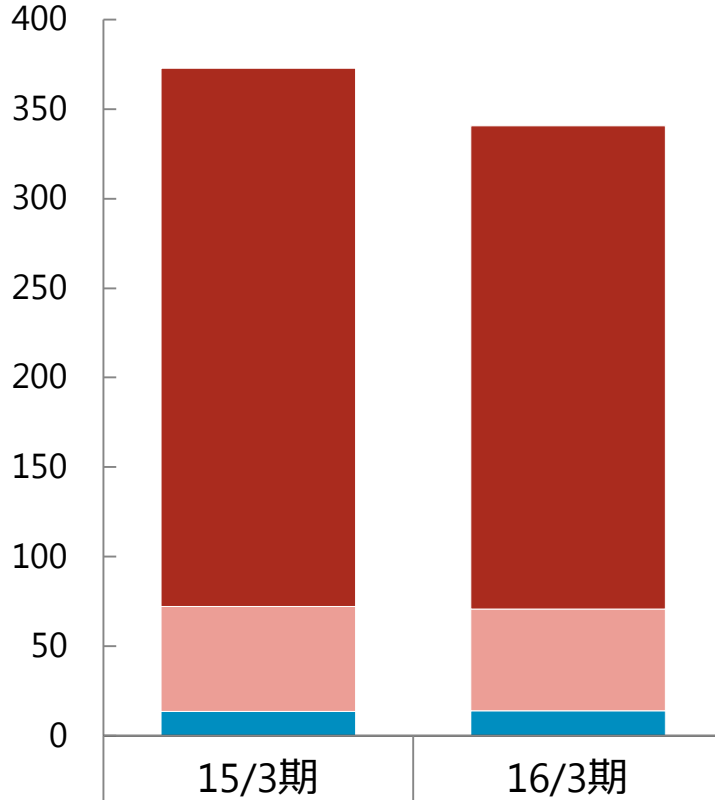
		15/3期	16/3期	増減
家庭用機器	売上高	37,301 (81.1%)	34,074 (79.9%)	△3,227
	営業利益	2,357	1,912	△445
産業機器	売上高	5,956 (12.9%)	5,828 (13.6%)	△127
	営業利益	561	460	△101
その他	売上高	2,761 (6.0%)	2,759 (6.5%)	△2
	営業利益	111	44	△66
合計	売上高	46,019	42,661	△3,358
	営業利益	2,961	2,466	△494

※営業利益合計数字にはセグメント間取引消去を反映

セグメント別売上高・営業利益【家庭用機器】

売上高
(億円)

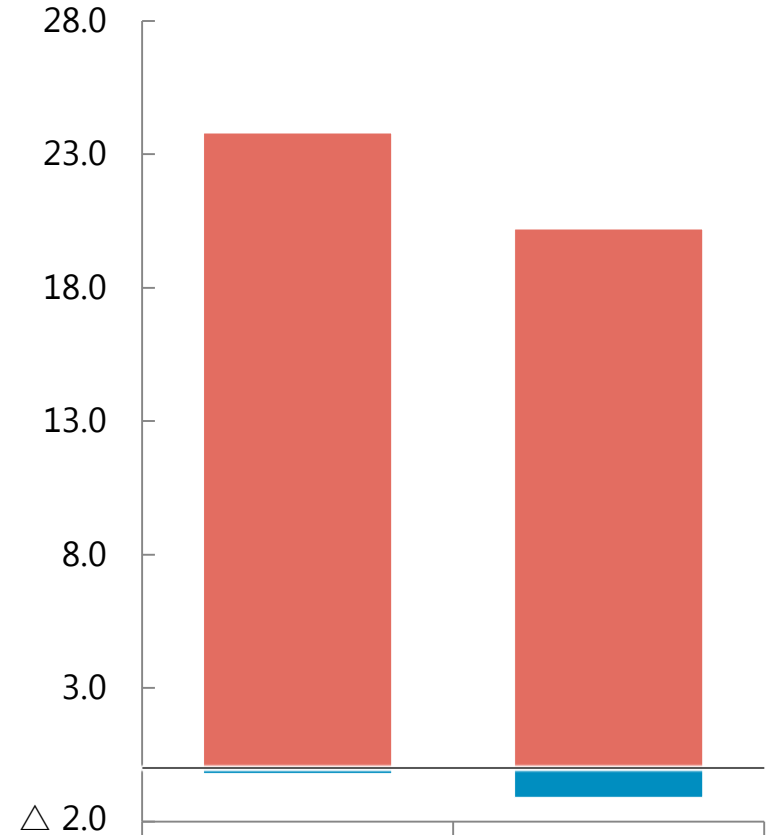
373.0 $\Delta 32.3$ 340.7



■ 海外マシン	300.5	$\Delta 30.6$	269.9
■ 国内マシン	58.6	$\Delta 1.7$	56.9
■ 24風呂	13.7	$+0.2$	13.9

営業利益
(億円)

23.5 $\Delta 4.4$ 19.1



■ ミシン関連	23.8	$\Delta 3.6$	20.2
■ 24風呂	$\Delta 0.2$	$\Delta 0.9$	$\Delta 1.1$

販売台数四半期推移【家庭用機器】

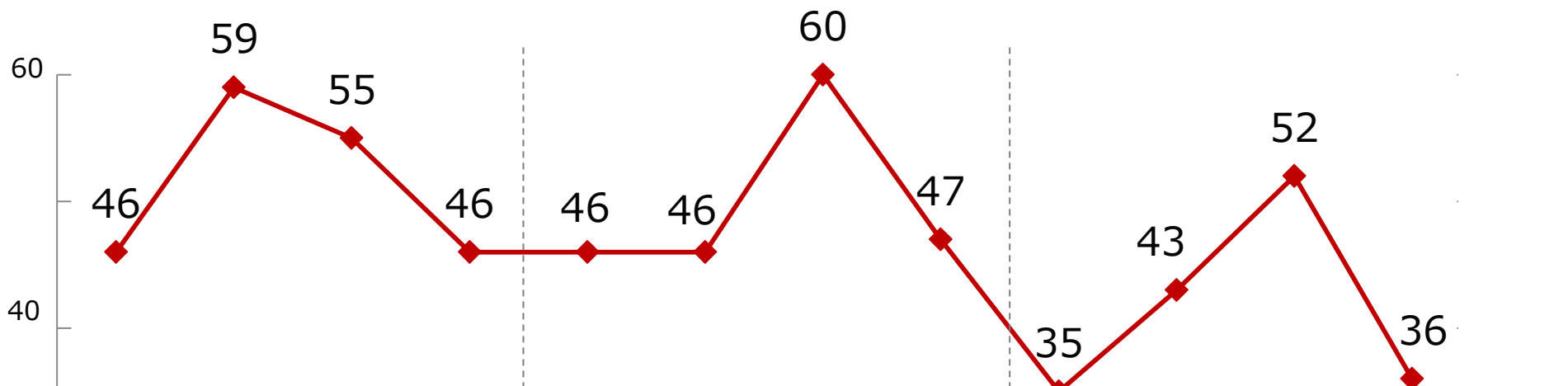
JANOME

—ミシン(万台)

14/3期 : 206

15/3期 : 199

16/3期 : 166

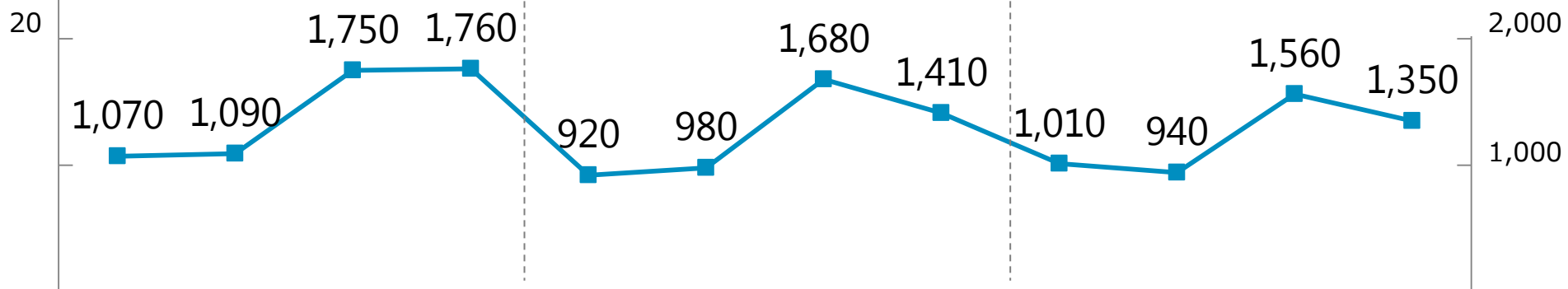


—24時間風呂(台)

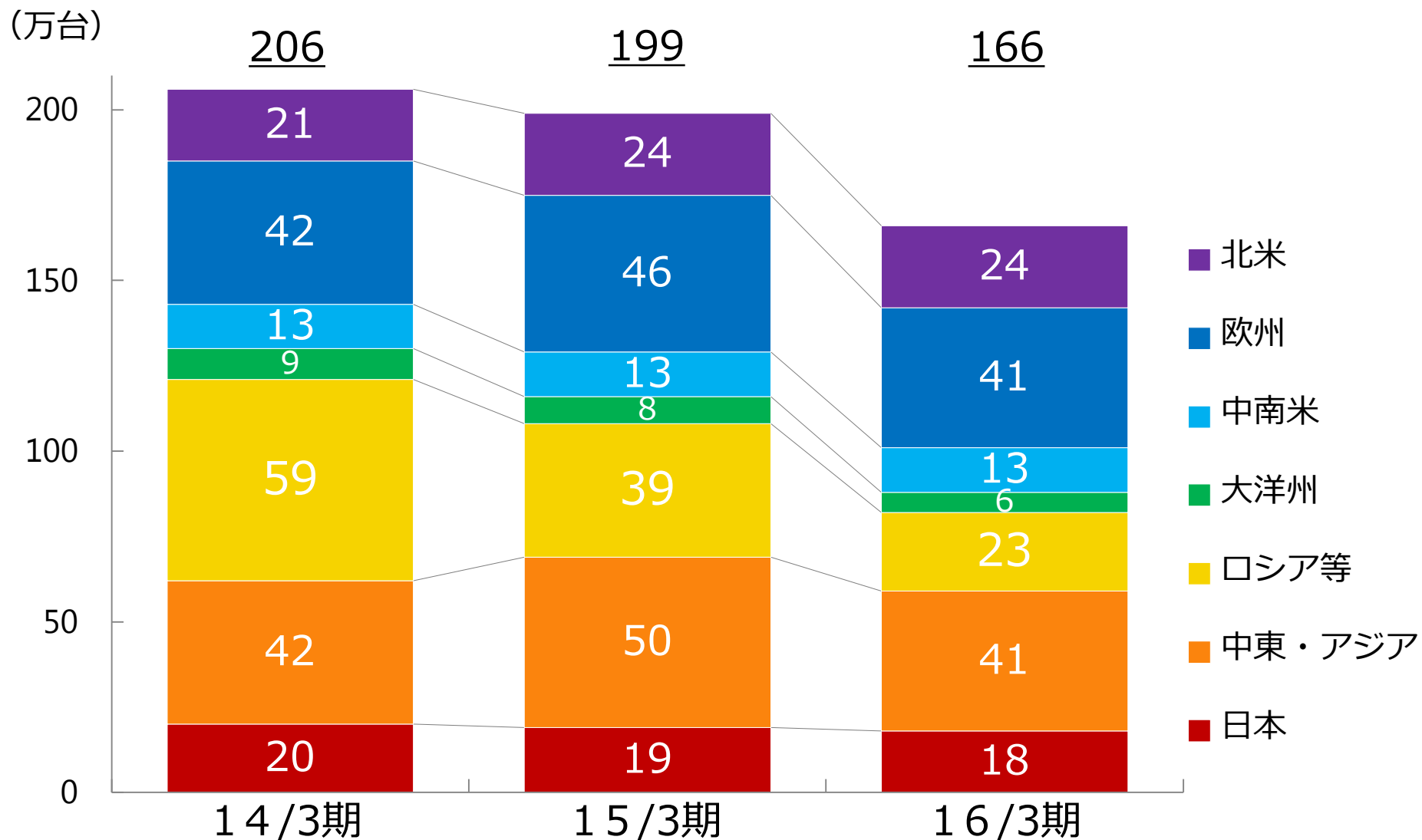
14/3期 : 5,670

15/3期 : 4,990

16/3期 : 4,860



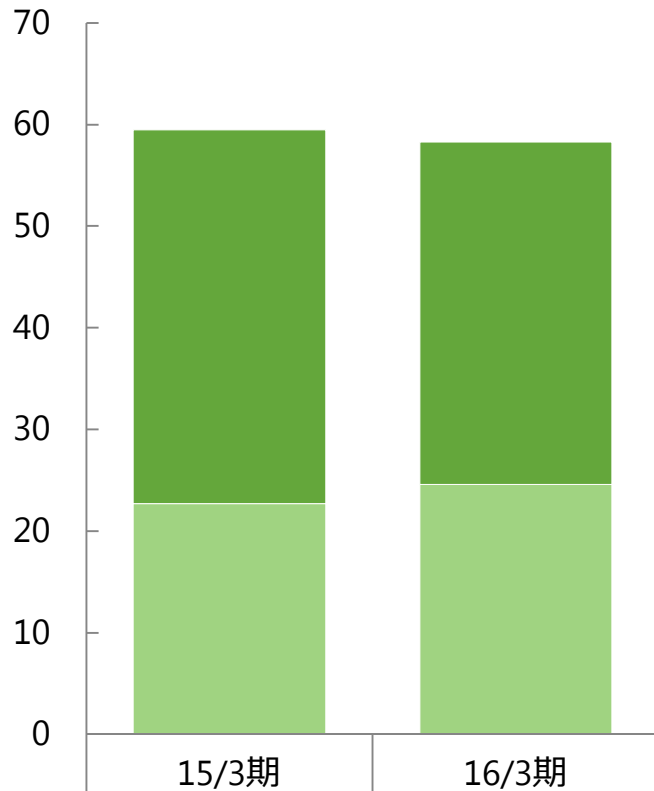
地域別販売台数推移【ミシン】



セグメント別売上高・営業利益【産業機器】

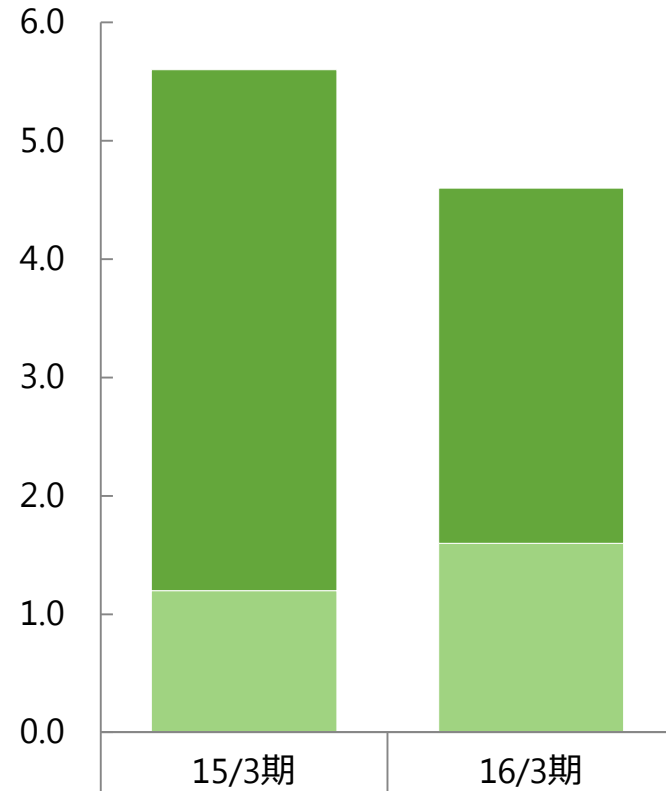
売上高
(億円)

59.5 $\Delta 1.2$ 58.3



営業利益
(億円)

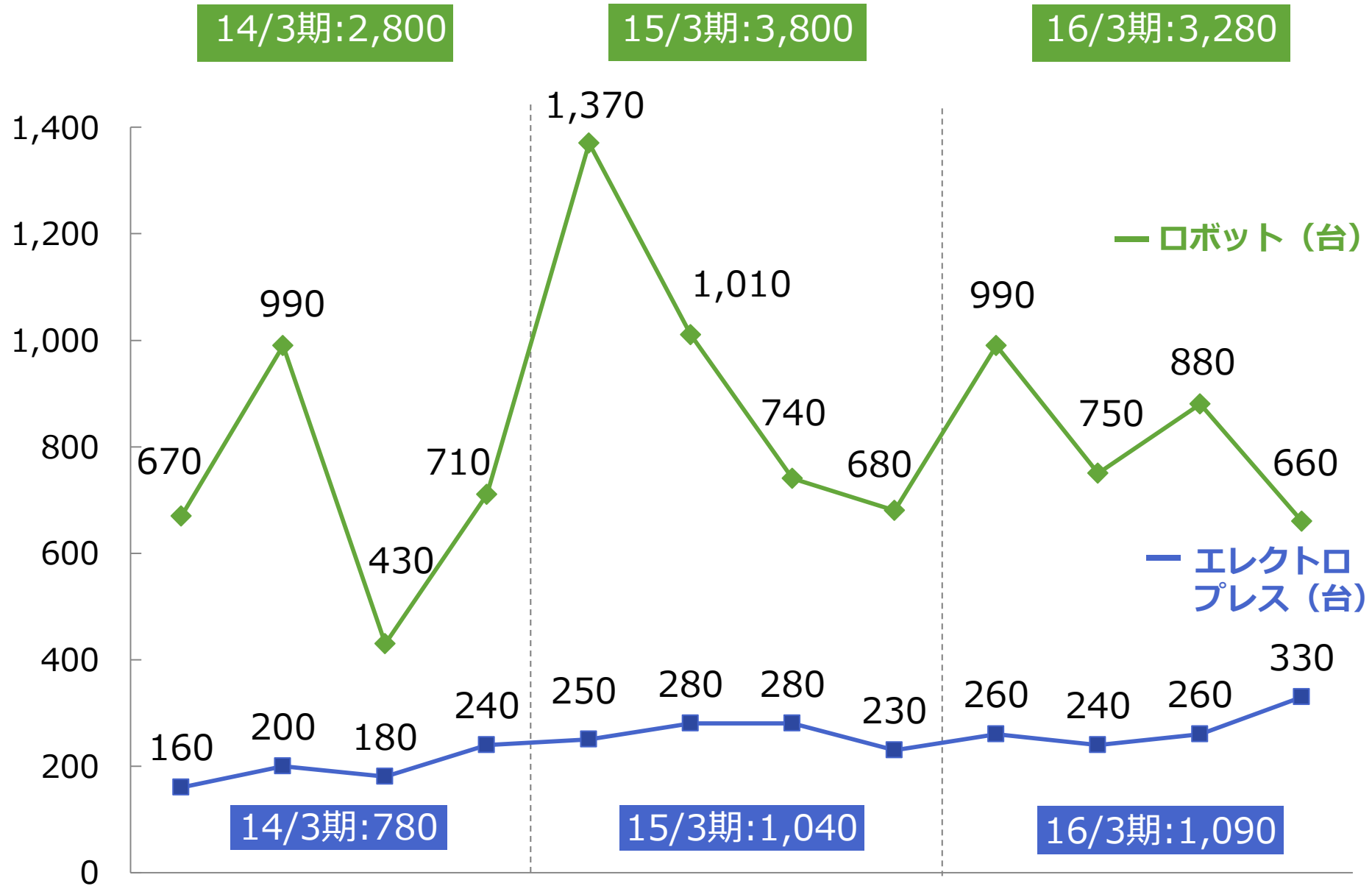
5.6 $\Delta 1.0$ 4.6



■ ロボット・プレス	36.8	$\Delta 3.1$	33.7
■ その他			
■ ダイカスト	22.7	+1.9	24.6

■ ロボット・プレス	4.4	$\Delta 1.4$	3.0
■ その他			
■ ダイカスト	1.2	+0.4	1.6

販売台数四半期推移【ロボット・プレス】



2017年3月通期見込み

(百万円)	16/3期 実績	17/3期 見込み	増減	増減率
売上高	42,661	44,000	1,339	3.1%増
営業利益 [営業利益率]	2,466 5.8%	2,500 5.7%	33 0.1P減	1.4%増
経常利益 [経常利益率]	2,646 6.2%	2,300 5.2%	△347 1.0P減	13.1%減
当期純利益	1,548	1,600	51	3.3%増
為替レート (対米ドル)	120.13円	110.00円	△10.13円	

蛇の目ミシン工業株式会社

本資料で記述されている計画・予測等は、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。
そのため、今後、市場や為替レートの変動などを含む様々な要因により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

2016年3月期 決算説明会
2016年5月18日